



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月13日

上場会社名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 東  
 コード番号 3065 URL http://www.meshiya.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大平毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼執行役員管理本部長 (氏名) 松本邦泰 (TEL) 06(6338)8331  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	6,694	1.6	262	19.2	290	17.6	151	△7.9
28年2月期第2四半期	6,590	3.4	219	△10.4	247	△8.1	164	31.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	9 90	—
28年2月期第2四半期	10 75	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年2月期第2四半期	6,757	3,976	58.8
28年2月期	6,469	3,865	59.8

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 3,976百万円 28年2月期 3,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0 00	—	2 50	2 50
29年2月期	—	0 00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 28年2月期期末配当金2円50銭には、創業30周年記念配当50銭を含んでおります。

29年2月期(予想)期末配当金2円50銭には、東京証券取引所JASDAQ市場上場10周年記念配当50銭を含んでおります。

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,261	1.8	432	5.1	485	3.4	250	0.5	16 36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
     ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
     ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
     ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
     ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	18,302,000株	28年2月期	18,302,000株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	3,004,284株	28年2月期	3,004,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	15,297,716株	28年2月期2Q	15,298,899株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな景気回復の動きがある一方で、英国のEU離脱問題やアジア新興国の景気減速等に伴う海外経済の不安定性への懸念による円高の進行、個人消費に消極的な影響が見られるなど先行き不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましては、原油価格の下落から電気料金等の光熱費価格が低下しましたが、原材料価格の高騰や人手不足による人件費の高騰など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社は、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開を行っております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、各業態期間限定メニューを導入し、「ザめしや」では高級感のある鰻まぶしごはんやネギ塩タレの中落ちカルビ焼き等の鉄皿での販売、「街かど屋」ではまぐろフェアを実施し、まぐろカツ定食や、まぐろカツと漬けマグロをセットにしたまぐろ定食等の販売、「めしや食堂」でホットチキンカレー等の月替わりカレーの販売、「讃岐製麺」ではざるうどんフェアを実施し、すだち蒸し鶏のざるうどんや牛肉のざるうどん等を販売いたしました。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が1店舗、閉店が3店舗となった結果、店舗数は122店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は6,694,854千円（前年同四半期比 1.6%増）、営業利益は262,067千円（前年同四半期比 19.2%増）、経常利益は290,918千円（前年同四半期比 17.6%増）、四半期純利益は151,519千円（前年同四半期比 7.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により3,994,682千円（前事業年度末は3,623,945千円）となりました。銀行からの資金調達を220,000千円実行したことや、既存店売上高の増加によるものであります。有形固定資産は、既存店舗の減価償却が進んだことにより1,463,914千円（前事業年度末は1,493,164千円）、投資その他の資産は、繰延税金資産の減少等により1,255,763千円（前事業年度末は1,316,115千円）となり、資産の部合計は、6,757,881千円（前事業年度末は6,469,226千円）となりました。

## (負債の部)

流動負債は、1,640,735千円（前事業年度末は1,622,050千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により1,140,580千円（前事業年度末は981,386千円）となり、負債の部合計は2,781,316千円（前事業年度末は2,603,436千円）となりました。

## (純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,976,565千円（前事業年度末は3,865,789千円）となりました。これにより、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は58.8%（前事業年度末は59.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は前事業年度末に比べ574,039千円減少し、2,233,497千円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として法人税等の支払額が120,423千円あったものの、税引前四半期純利益を276,346千円を計上したことや、非資金的費用として減価償却費81,794千円があったこと等により327,734千円の収入（前年同四半期は217,385千円の支出）となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、預入期間が3ヶ月を超える定期預金の預入による支出1,350,000千円及び払戻による収入400,000千円、差入保証金の回収による収入13,948千円、新規出店及び店舗改装のための有形固定資産の取得による支出96,919千円があったこと等により、1,044,307千円の支出（前年同四半期は8,170千円の収入）となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金45,357千円、割賦債務69,737千円の返済による支出等がありましたが、金融機関から長期借入による収入が220,000千円あったこと等により、142,532千円の収入（前年同四半期は104,405千円の収入）となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店8店舗、閉店3店舗で次期店舗数は129店舗を予定しております。

当事業年度の業績予想につきましては、売上高は13,261,243千円（前年同期比1.8%増）、営業利益は432,005千円（前年同期比5.1%増）、経常利益は485,600千円（前年同期比3.4%増）、当期純利益は250,310千円（前年同期比0.5%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,107,537	3,483,497
売掛金	11,837	16,603
商品	268	275
原材料及び貯蔵品	49,448	50,260
繰延税金資産	87,280	94,084
その他	367,573	349,961
流動資産合計	3,623,945	3,994,682
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,327,718	1,298,966
その他	165,445	164,948
有形固定資産合計	1,493,164	1,463,914
無形固定資産	36,001	43,520
投資その他の資産		
差入保証金	938,274	918,001
繰延税金資産	264,000	232,055
その他	114,350	106,217
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,316,115	1,255,763
固定資産合計	2,845,281	2,763,199
資産合計	6,469,226	6,757,881
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	369,281	426,957
1年内返済予定の長期借入金	60,719	104,725
未払法人税等	135,099	128,043
賞与引当金	116,031	117,602
その他	940,917	863,407
流動負債合計	1,622,050	1,640,735
固定負債		
長期借入金	194,725	325,361
長期預り保証金	113,623	106,399
退職給付引当金	376,563	399,171
役員退職慰労引当金	80,308	83,241
その他の引当金	4,482	3,702
その他	211,682	222,702
固定負債合計	981,386	1,140,580
負債合計	2,603,436	2,781,316

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	645,850	756,626
自己株式	△156,114	△156,114
株主資本合計	3,865,789	3,976,565
純資産合計	3,865,789	3,976,565
負債純資産合計	6,469,226	6,757,881



## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	6,590,067	6,694,854
売上原価	2,076,825	2,129,864
売上総利益	4,513,241	4,564,990
販売費及び一般管理費	4,293,313	4,302,922
営業利益	219,927	262,067
営業外収益		
受取利息	2,654	2,166
受取家賃	90,268	84,299
その他	25,122	25,921
営業外収益合計	118,044	112,387
営業外費用		
支払利息	2,899	2,194
賃貸収入原価	86,359	80,355
その他	1,229	985
営業外費用合計	90,488	83,536
経常利益	247,484	290,918
特別利益		
有形固定資産売却益	-	300
特別利益合計	-	300
特別損失		
有形固定資産除却損	6,080	4,611
減損損失	-	9,631
店舗閉鎖損失	217	628
特別損失合計	6,297	14,871
税引前四半期純利益	241,186	276,346
法人税等	76,752	124,827
四半期純利益	164,433	151,519

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	241,186	276,346
減価償却費	85,749	81,794
減損損失	-	9,631
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△780	△780
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,518	1,570
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,350	22,608
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,475	2,933
受取利息及び受取配当金	△2,654	△2,166
支払利息及び社債利息	2,899	2,194
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△300
有形固定資産除却損	6,080	4,611
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,112	△818
仕入債務の増減額(△は減少)	△291,408	57,675
売上債権の増減額(△は増加)	△20,669	△4,766
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94,523	△18,093
その他の資産の増減額(△は増加)	13,955	21,611
その他の負債の増減額(△は減少)	△91,697	△8,664
その他	4,706	3,581
小計	△124,736	448,972
利息及び配当金の受取額	1,891	1,495
利息の支払額	△2,964	△2,309
法人税等の支払額	△91,576	△120,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	△217,385	327,734
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△500,000	△1,350,000
定期預金の払戻による収入	600,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△116,604	△96,919
有形固定資産の売却による収入	-	300
無形固定資産の取得による支出	-	△9,297
差入保証金の差入による支出	△6,578	△4,016
差入保証金の回収による収入	26,119	13,948
貸付けによる支出	-	△3,000
貸付金の回収による収入	7,983	7,918
その他	△2,750	△3,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,170	△1,044,307

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	220,000
長期借入金の返済による支出	△142,432	△45,357
社債の償還による支出	△20,000	-
セール・アンド・割賦バック取引に基づく 資産売却代金の受入額	82,308	78,142
割賦債務の返済による支出	△82,988	△69,737
自己株式の取得による支出	△100	-
配当金の支払額	△32,381	△40,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,405	142,532
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△104,808	△574,039
現金及び現金同等物の期首残高	2,623,231	2,807,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,518,422	2,233,497

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。